

此ノ場合ノ爆彈ハ通常五〇呎彈以下ヲ適當トス

(註) 防空火器ノ制壓破壊ノミニテ相當ノ彈量ト犠牲機ヲ要ス
ルハ後述ノ第三其二及第四ノ算出ニヨリテモ明カナリ

其二 砲 兵

一、戰法判斷

1. 先ツ各種ノ手段ヲ盡クシテ情報ヲ收集審査シ疑ハシキ箇所ニハ
偽裝剝脫射撃ヲ實施ス

2. 速カニ對砲兵戰ニヨリ防禦砲兵ノ破壊ニ勉メ止ムヲ得サルモ其
ノ火力ニヨリ攻撃準備ヲ妨害セラレサル如ク制壓ス

3. 次テ攻撃計畫ニ基キ全力ヲ以テ防禦組織ノ破壊射撃ヲ實施ス之
カ爲觀測所ヲ推進シテ主トシテ大中口徑砲ヲ以テ重要術工物ヲ
破壊制壓シ目標ノ種類、素質ニ應シテハ小口徑砲ヲ陣地前縁ニ
推進シテ之ヲ制壓ス

4. 攻撃準備射撃ノ所要時間、使用彈藥量ハ戰法ノ如何ニヨルモ主

トシテ砲撃ニヨル破壊成果ヲ期待スル場合ニハ其ノ效果ヲ得ル迄實施ス

5. 歩兵又ハ戰車ノ突撃時ニハ猛烈ナル支援射撃ヲ實施シ緊密ナル連繫ノ下ニ逐次火力ヲ移動ス

6. 狀況特ニ氣象狀況有利ナル時ハ大規模ニ瓦斯彈、煙彈、使用ス

二、本要塞ニ對スル砲撃ノ效果

1. 偽裝剝脫射撃

疑ハシキ目標ニ對スル偽裝剝脫射撃（砲兵操典第三部第二百二十四）ハ小口徑砲彈 10 發ヲ以テ目的ヲ達シ得ヘシ然レトモ本要塞ノ如ク廣地域ニ小ナル術工物ヲ分散秘匿シ且多數ノ偽障地ヲ有スル場合ニハ通常地域的偽裝剝脫射撃ヲ必要トシ「ヘクターール」當リ百發以上ノ彈數ヲ要スヘク假ニ大隊陣地ノ三分ノ一二本射撃ヲ實施セントセハ所要彈數一万發以上トナリ實際問題トシテ困難ナルノミナラス防者ノ對策ニヨリ所期ノ目的ヲ

2. 對砲兵戰

第十表

0276

13

0277

兵兵力ニテ十基數内外ノ彈藥ヲ使用シ對砲兵戰ノミヲ實施スル
モ防禦砲兵ヲ撲滅スルハ至難ナルヘシ

3. 對戰車障礙物ノ破壊

地形特ニ觀測ノ如何ニヨリ所要彈數著シク異ナルモ平坦地ニ於
テ略々觀測シ得ル場合各種強度ノ壕ヲ破壊スルニ要スル彈數ノ
推定次ノ如シ

第十一表

特重	重	中	輕	砲		備考
				十二榴	十五榴	
第一陣地 ノ規模ニ 於テ述ヘ タル斷面 トス	一、六〇〇 乃至二、〇〇〇	一、二〇〇 乃至三、〇〇〇	八〇〇 乃至二、〇〇〇	低	高	二十榴
一、本表ハ正面射 ノ場合ノ彈數 ニシテ概テ三 ノ場合ハ概テ二 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一	三、二〇〇 乃至五、〇〇〇	一、二〇〇 乃至三、〇〇〇	八〇〇 乃至二、〇〇〇	低	高	二十榴
二、本表ハ正面射 ノ場合ノ彈數 ニシテ概テ三 ノ場合ハ概テ二 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一	三、二〇〇 乃至五、〇〇〇	一、二〇〇 乃至三、〇〇〇	八〇〇 乃至二、〇〇〇	低	高	二十榴
三、本表ハ正面射 ノ場合ノ彈數 ニシテ概テ三 ノ場合ハ概テ二 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一 ノ場合ハ概テ一	三、二〇〇 乃至五、〇〇〇	一、二〇〇 乃至三、〇〇〇	八〇〇 乃至二、〇〇〇	低	高	二十榴

摘 要

装薬Ⅰ號	射距離	三〇〇米	附近
装薬Ⅱ號	射距離	又ハ 四〇〇米	附近
装薬Ⅲ號	射距離	三〇〇米	附近
装薬Ⅳ號	射距離	三〇〇米	附近
低射界	ヨリ通路開設セ ラル、モ、彈痕其 ノ他ニヨリ相當 戰車ノ速度ヲ遲 延スヘク又歩工 兵ニヨル若干ノ 補修ヲ必要トス ヘシ		

即チ砲兵ニヨル對戰車障礙ノ破壊ハ莫大ノ彈效ヲ要スルノミナ
ラス其ノ結果生起スル彈痕地帯ハ戰車ノ行動ヲ遲滯セシムルヲ
以テ地形ヲ利用シ致線ニ設ケアル障礙地帯ニ砲兵火力ノミニヨ
リ多數ノ通路ヲ開設スルハ困難且不利ナリ地形其ノ他ノ關係上
破壊容易ニシテ特ニ之ヲ必要トスル場合ニ限り實施スルヲ適當
トス

歩兵抵抗地帯ノ戰闘機關ノ破壊制壓

本要塞ノ戰闘機關ハ附表第一ノ如ク夫ト強度、大サ、構造、外
觀、性能等ヲ異ニシアルヲ以テ砲兵ニヨル制壓破壊ハ目標ニ應

シ砲種、彈種、射法等ヲ適切ナラシメサレハ效果少ナク一般ノ砲兵射撃ノ如ク中距離以上ヨリ破壊制壓ヲナシ得ル術工物ハ僅少ニシテ多クハ近迫シテ射撃スルヲ要シ射撃ノ指揮並實行困難ナルノミナラス防禦組織ノ崩壊度ヲ判定スルハ偽裝ノ巧妙ナルニ從ヒ益々困難ナリ

特ニ警戒、指揮、近接戦闘ノ諸施設及曲射火點、掩砲所等ハ開口部少ナキ水平目標ヲ呈スルヲ以テ砲兵ニヨル制壓破壊ハ莫大ノ彈數ヲ必要トシ且所期ノ目的ヲ達スルコト困難ナルヘシ而シテ使用彈數ノ増加ハ結果的ニ見テ地域射撃ト同様ノ景況ヲ呈スルニ至ルヘシ

今戰史上堡壘ノ單位面積當リニ受ケタル彈數ヲ計算セハ次ノ如シ

第十二表

0280

要塞名		堡壘名	一平方米當彈量	砲撃ノ成果
旅順	松樹山	二八貳	築城ハ優良ト言ヒ得ス之ニ對シ砲兵ノ效果ハ不充分ニシテ砲戦、破壊射撃共ニ満足スルニ至ラス	
	二龍山	三一〃	本表彈量ハ小口徑砲彈ヲ含マス	
	東鷄冠山(北)	二四〃	大口徑砲彈ハ中口徑砲彈ノ彈量ノ二乃至三倍ニ相當ス	
	爾靈山	六三〃		
	臺東鎮(東)	五〃	堡壘ノ素質優良ナラサルモ本彈量ニテハ破壊不充分ナリ	
青島	中央	四〃		
	小湛山	四〃		
ナミユール	海岸	一二〃	術工物ノ約半數ハ尙使用ニ堪フ	
	マルシヨヴエレット	約二〇八〃	目標小ナル小砲塔ハ健在ス	
ベルダン	ムーランヴィル	三六〃	地表面ハ全ク舊形ヲ保タサルモ生存施設ハ大部分健在シ適切ナル補修ヲササハ尙抵抗ヲ持續スルを得	
	ドウオーモン	一〇〇〃		

15

2-19

0281

備考

一、ハ砲種不明ナルヲ以テ推定値トセリ
ニ、佛國將校ノ言ニ依レハ一平方米當リ「ベルダン」戦場ハ二應、「ソ
ナム」戦場ハ一應ノ鐵量ヲ吸收セリト言フ、右數量ハ過大ナルカ如シ

要望ニ示サレアル攻者ノ全砲兵力各々十五基數（基數ノ計算ハ
本邦式トス）ヲ使用スルトセハ其ノ總彈量ハ約二、〇〇〇應ナ
リ此彈量ヲ全部主攻撃正面ノ大隊地區（三〇〇「ヘクター」）
ノ特ニ重要ナル部分ヲ假ニ三分ノ一トシ之ニ平等ニ散布セルモ
ノトセハ一平方米當ノ彈量ハ約二貳トナリ旅順ノ十數分ノ一ニ
モ達セス即チ本砲兵力ヲ以テシテハ中距離以上ヨリスル單ナル
破壊制壓射撃ノミニテハ莫大ノ彈藥ト多大ノ日子ヲ費スモ突撃
ヲ期待シ得ル破壊成果ヲ得ルコト至難ニシテ近迫シテ行フ狙撃
的射撃力或ハ他ノ手段ニ依テサルヘカラス
銃砲門射撃ニ關シテハ別項ニ之ヲ述フ

5. 突撃支援射撃

本要塞ノ戦闘機關ハ一部ノ露天砲座及戰鬥中ノ近接戦闘機關ヲ除キ大部分ハ掩蓋下ニアルヲ以テ野戰ニ於ケル如ク「ヘクター」當毎分數十發ノ急襲的射撃ヲ蒙ルモ制壓效果ヲ期待シ得スル故ニ突撃支援射撃ハ效力アル彈種ヲ以テ行フ高密度（例ヘハ「ヘクター」數千發）ノ急襲的射撃ニヨルカ活動ヲ豫想スル火點ニ對スル狙撃的射撃ニヨルヲ必要トシ實際問題トシテ前者ハ不可能ニシテ後者ハ射撃ノ指揮並實行ニ困難ヲ伴フヘシ此ノ場合氣象狀況良好ナラハ煙ノ使用特ニ目潰射撃ハ有效ナル場合アルヘシ

三、本要塞ニ對スル砲撃ノ價值

（偽裝剝脱射撃ハ陣地ノ細部偵察、重要術工物ノ發見ニ有效ナルモ彈數ノ制限ヲ受ケ廣地域ニ亘リ實施スルコト困難ナリ）
2 砲撃ノミニヨリ突撃ヲ期待シ得ル如キ破壊效果。短時日ニテ求メ且之ヲ確認スルハ本要塞ノ編成、素質、偽裝等ノ關係上至難